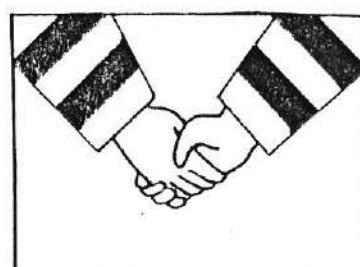


子どものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL、FAX(0468)49-8349

次の一步を目指して

国立特殊教育総合研究所 重複障害教育研究部室長
「こどものへや」運営委員長 松田直

急願のミニユニケーション・ルーム「子どものへや」がスタートしました。保護者をはじめとする多くの方々のご苦労ご努力に対しまして、心から敬意を表したいと思
います。

私は、所員の皆さんとは就学前からお付き合いがあつたり、国立久里浜養護学校・横須賀市立養護学校・神奈川県立武山養護学校で折りにふれてお目にかかるつたり、ということの延長で、「子どものへや」に関わることになりました。よろしくお願ひいたします。

開所一か月間の活動の様子を垣間見て感じるのは、まずまずのスタートを切れたのではないかということです。それは、お弁当を食べている時の所員の表情からも感じられますしかし、この先こどものへやの活動を安定させ、更に発展させるには、まだまだ多くの支えが必要であることは言うまでもありません。様々な形でのご支援をお願いする次第であります、私が「こどものへや」に期待していることは、と言いますと…

①何よりも先ず、通つて来られた所員がゆつたりと安心して数時間過ごせる場になること、

②体を動かす・新鮮な空気に触れる・温かい日光を浴びる・昼食やおやつを食べる・排泄する、

などの活動を通して、健康な体を保つたり、一層健康な体を作つたりすること、

济的基盤の弱さなどを客観的に考えますと、「こどものへや」を第一歩として踏み固めながらも、次の「壁」を目指して、検討を進める必要があると思います。いろいろな「社会の壁」に出会うことが十分予想されますが、次の一步をどの方向に踏み出すべきか、他の地域の先進的な例も参考にしながら考えたいと思つています。

「子どものへや」は存在しているのです。その反面、重度の障害を持つ若者は、まだまだ知られていないのだと、の思いもしています。生きることのすばらしさを語りかけている若者たちの存在を、知っていたらしくことも、「子どものへや」の仕事の一つだと思っています。街へ出かけて「人々とふれ合うこと」、こんな簡単なことからも理解の一歩は始まると信じています。

「『頑張つてね！』と声をかけられたのよ」と散歩から帰つた指導員さんが嬉しそうに話しています。

自然に恵まれたこの地で、若者たちが少しでも社会とのつながりを持てる場所、「子どものへや」がそんな集いの中心になれるように、努力していきたいと思っています。

さて、十八歳以上の若者たちが集まる場所の名称が「こどものへや」とは：との質問をよく受けます。家にいればいつも親と一緒にいなければならない子ども：。心配でなかなか子離れできない親：青年として子どもたちの時間と場所仲間との世界を作つて欲しいと願い名付けました。

ボランティアさんや先生方など、直接こどもたちにかかわって下さる方々はもとより、寄付を下さる方、昼間の空いている時に駐車場を貸して下さる方、看板を作つて下さつた方その他大勢の人々の温かさのなかに

手を取り合つて

所長 滝川有不

淹川集

充実した日々

副所長 福谷恵美子

この三月まで一年間でしたが、わたくし作業所にお世話になつていました。すべてお任せで、楽をさせてもらつていましたけれど、大変だということはわかつていつもりです。でも、実際に作業所に関わつてみて、金銭的にはもちろんですが、体力的にも時間的にも、作業所を切り回している方々は、ほんとうに良くやつていると思います。タフだなというのが実感です。

「子どものへや」も、始まつてから一ヶ月たちました。幸いにも、指導員やボランティアに良い方々が来て下さつたので、とても頼もしく思つています。今のところ、一日のながれとしては、健康観察・朝の会・その後天気の良い日には、全員が車椅子で散歩に出ます。みんな外が好きなので、ご機嫌のようです。午後は近くまで歩いたり、階段の昇り降り等の歩行訓練や、背もたれのない椅子に座つて、そこから立つ練習。音楽をかけたり楽器を使う等、各自全体的に、やつと落ちついてきました。

仕事の方はまだ準備中ですが、所員もたまには作業をすることになるので、そろそろ始めなければと思つています。軌道にのるまでは、大変なことも

あるかと思いますが、協力し合つて頑張りたいと思います。

温かいご支援に感謝

親の会会長 中野征子

たぼうし作業所にお世話になつていました。すべてお任せで、楽をさせてもらつていましたけれど、大変だということはわかつていつもりです。でも、実際に作業所に関わつてみて、金銭的にはもちろんですが、体力的にも時間的にも、作業所を切り回している方々は、ほんとうに良くやつていると思います。タフだな

「子どものへや」の玄関に入ると長洲知事の色紙「えがお」の文字が目に入つてきます。まさに今の「子どものへや」にピッタリの言葉ではないかと思います。

開所にこぎ着けるまでは、いろいろと辛い事もありましたが、今は子供の笑顔が親の心を癒してくれ、安らかな気持ちであります。

又、子供を安心して託せる指導員ボランティアの方々に巡り会えたのは、親として大変幸せな事であります。子供達が自分の居場所をしつかりと確認して、新しい一步を踏み出している姿を見るのは嬉しいものです。「子どものへや」は、社会から見れば小さな存在かも知れませんが家族が子供と共に生きていくには、無くてはならないものなのです。子供達を支えて下さる指導員とボランティアの方々に、深く感謝しております。

☆：小田康雄君（十八歳）
ちよっぴり恥ずかしがりやで手が器用で好奇心が旺盛です。

いつも指導員に目に見えない心の言葉をたくさん投げかけているような気がします。早くキヤッとして康ちゃんの心をとらえたいと思います。

☆：鈴木幹大君（十八歳）
音楽が好きで、クラシックが流れると太陽のようなまばゆい目を開き、じつと音に聞き入りとてもいい笑顔に感動します。

☆：中野真一君（十八歳）
散步の時、音楽を聞く時、頭を左右に大きく振つて大喜びします。お茶目な反面、真面目で体調が悪い時でも一生懸命食事を取ろうと努力する真一君には心があつくなります。

☆：福谷慎吾君（十九歳）
暑さが苦手な慎吾君は静かに所や散歩が大好きです。外に出ると緊張からとき離されたような穏やかな笑顔に、心が洗われる思いがします。

☆：前田邦子（ハイランド）
所員の笑顔にささえられ、教えられ、週2回豊かな充実した時間を持てることに感謝しています。

以上、指導員8人、心を合わせて紺を深め、所員との心のふれ合いを大事に頑張りますので、よろしくお願い致します。

一番障害の重い子供が、誰よりも楽しく社会に参加していく場所、それが「子どものへや」であつて欲しい。親の切なる願いであります。親も子供に負けない様に、笑顔を忘れずに過ごしたいと思います。

一番苦しい時に手を差し伸べて下さった沢山の方々に、心からお礼を申し上げます。

これからは、「子どものへや」の運営が、少しでも円滑に行えるように、親の会として努力していきたいと考えています。皆様のご協力をお願い致します。

指導員さん

☆：相川英里子（ハイランド）

所員のお母様方の愛情の深さに母としての自分を考え直させられる毎日です。所員の皆さんに手を取られたり、笑い返してもらつたりして、今はただ一生懸命やっています。

☆：上野幸子（ハイランド）

子供達の笑顔で、頑張りが出てきます。腰に気をつけ、楽し

く働きたいです。

☆：岸 ちづ子（船越）

趣味のスイミングを活かし、夏には楽しいプールを、楽しみにね！

☆：植木智子（桜が丘）

皆さんのやさしさと、子供達の純真さにふれ、心が耕される思いです。

☆：岸 照子（ハイランド）

「子どものへや」おめでとう明るく元気に楽しく過ごせるよう

自己紹介

☆：熊沢睦子（ハイランド）

初めての慣れない仕事ですが情が移つて笑顔がかわいいです

子供達のサインが早くわかるといいのにーー！

☆：前田邦子（ハイランド）

明るく一生懸命の「子どものへや」仲間に入れてもらつて本当によかったです。

こどものへや

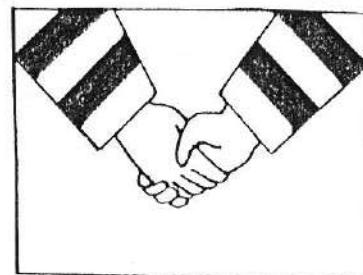
発行責任者

〒239

TEL. FAX (0468) 49-8349

滝川郁子

横須賀市長沢 87-2



「こどものへや」が生まれました

平成5年5月8日（土）、県立横須賀労働福祉会館にて、午前十一時から開所式を行いました。来賓をはじめとして八十数名が集い、なごやかなうちに無事終了致しました。

温かい励ましに包まれて

所長 滝川郁子

所員・指導員・ボランティアの方々を、皆様にどうしても紹介したい

という思いで開所式を行いました。

お忙しい方々をご招待しますので、ご迷惑では、との迷いもありましたが、今は開催してよかったです。

一人の励ましや温かい言葉に「こどものへや」を充実させていかなくては」との思いを強くいたしました。他の作業所は勿論のこと、地域の方々、楽しい特別教室をして下さるボランティアとの交流を通して、所員の新

しい可能性を引き出せるような希望を感じています。

そして何よりも嬉しかったことは

こどもたちをケアしている指導員やボランティアの姿を見て、「本当に良い方たちに指導員さんになってもらいましたね。」と言つていただ

いたことです。長沢の「こどものへや」へ、是非、普段の顔のこどもたちと指導員に会いに来て下さい。も

つと笑顔にあふれています。

出席して下さった皆様にあらためてお礼申し上げます。又、これからもよろしくご指導・ご支援をお願いいたします。

◎遠足・社会見学

月に一回は、お弁当を持って、外へ出たいと思つてお茶の教室、生け花教室等を開く予定です。

◎たけのこスパート教室

月に一回は、お弁当を持って、始まる前の感動的な人の交わりも見られました。

◎肢体不自由者の他の作業所の方

月に一回は、特殊教育総合研究所で、マッサージや個別指導の方法を教えていきます。近づく公園から始めています。将来は電車に乗つて出かけてみたいな

今回は継続して行う予定の行事や研修についての紹介です。

◎音楽教室

新しくできた総合福祉会館の音楽小ホールを借りて毎週水曜日の午前中に行います。音楽の大好きな所員たちの期待は大きい！

◎外食

ボランティアの方に来ていただいて、パン作り教室もよろしくご指導・ご支援をお願いいたします。

◎職員研修会

月に一回、遊びの中でもハンモックブランコは皆大喜び、二回づつ乗せてもらつても、まだまだ乗りたいと言ひたげな、笑顔でよかつた時間です。熱が入つて延びてしまふこともあります。

◎職員研修会

月に一回、遊びの中でもハンモ

二時間前から、心配や不安、希望や喜びが入り混じり、すべて所員のお母様の手でボランティア・指導員・関係者が協力して、会場作りをしました。

来賓の皆様を迎えるにあたり、きちんとネクタイをして正装をした所員は、少し緊張ぎみでしたが、いつもより一まわりも二まわりも大きく見え立派な姿でした。

所員の小学校や中学校や高校の恩師がなつかしくかけ寄つて下さり、一人一人に手を取つて話しかけ、や

り、散歩をする内にすかりご機嫌になりました。

初めての遠足 楽しかった！

指導員 岸 照子

良いお天気に恵まれた四月二八日初めての遠足です。久里浜地区にあ

りました。遊びの中でもハンモックブランコは皆大喜び、二回づつ乗せてもらつても、まだまだ乗りたいと言ひたげな、笑顔でよかつた時間です。熱が入つて延びてしまふこともあります。

初めての遠足 楽しかった！

指導員 岸 照子

まさに「こどものへや」の歴史の始まりにふさわしい温かい温かい感動的な一日でした。

いつもと違う所に連れてこられた神明公園、広々とした芝生と大好きなブランコ、すべり台もある遊び大好きな人が集まる公園です。

雨が降り出しました。

初めての遠足 楽しかった！

指導員 岸 照子

なりました。遊びの中でもハンモ

ックブランコは皆大喜び、二回づつ乗せてもらつても、まだまだ乗りたいと言ひたげな、笑顔でよかつた時間です。熱が入つて延びてしまふこともあります。

初めての遠足 楽しかった！

指導員 岸 照子

になりました。これまでご苦労のあつたお母様方や関係者の方々の喜びや思いが、会場にじわりじわりと伝わり、心をうたれました。

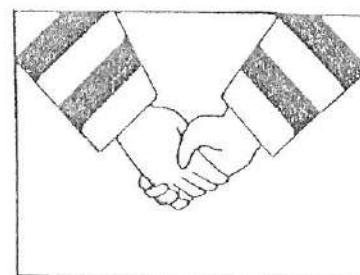
いつもと違う所に連れてこられた神明公園、広々とした芝生と大好きなブランコ、すべり台もある遊び大好きな人が集まる公園です。

少しあ風も出てきたので早めに引き上げて良かつた。家に帰り着く頃に

日々の、月一回の交流の場です。市の総合体育会館の広いホールで、思いきり動き回っています。参加のお説いありがとうございます。

子どものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL, FAX (0468) 49-8349



「楽しいこといっぱい」

「子どものへや」もどうにか軌道に乗り出し、具体的に動き出しました。今回は音楽教室やスポーツ教室、遠足などの報告をしたいと思います。

第一回 音楽教室

ボランティア 新井光枝

○：第一回「子どものへや」音楽教室。真新しい社会福祉会館の七階第二音楽室。まだ塗料の臭いがブンブンする。

一応小学校一・二年の教材の中から十曲程用意してきたが、果たして喜んでもらえるか？。正味一時間半は長かった。現在流行している歌等、何も知らない者の選曲では通用しない。

全身全霊もう何をしたらよいか

わからなくなってしまった。もう

駄目、私には出来ないと思つた。

帰り際、指導員の方から「これに懲りずにお願いします。」と言われた。

唯の1回で泣き言なんて！

どんな曲が子供達の心を揺さぶることができるのか、これから課題として頑張らなければ！と思つた。

○：ボランティア 大沢光子

お人柄に強くひかれたのが、今回の「子どものへや」との出会いとなりました。とは言え無経験で不安ばかり…。でも何事にも完璧ではなく、ダメな点は補いつつ、その努力のできる自分だとは思っています。

歌つたり、聴いたり等、其に語り、ふれあい楽しむ時を持ちますよう。アドバイスをお願いします又、広い所なので、所員全員に元気なお顔を見せて欲しいと思つて

います。

○：指導員 上野幸子
○：所員が大好きな音楽を楽しむため、新しく完成した総合福祉会館内の音楽室にて、月末より毎週水曜日、先生に音楽の指導をお願いしています。第一水曜日はやさしい眼差しで所員に話しかけて下さる大沢先生が担当して下さいます。先生の美しい声と、すてきなピアノで始まります。毎朝、木琴や手拍子で歌ります。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。

○：指導員 熊沢睦子
○：所員が大好きな音楽を楽しむため、新しく完成した総合福祉会館内の音楽室にて、月末より毎週水曜日、先生に音楽の指導をお願いしています。第一水曜日はやさしい眼差しで所員に話しかけて下さる大沢先生が担当して下さいます。先生の美しい声と、すてきなピアノで始まります。毎朝、木琴や手拍子で歌ります。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。

○：指導員 植木智子
○：五月二十六日、総合福祉センターに於いて、初めての音楽教室が始まりました。真新しい建物、広々とした音楽室、きれいなトイレ等に皆ちよつとだけ興奮ぎみでしたが、ピアノの音がなり、先生の美しい声を聴くと、とても気持ち良さそうな表情になり、体いつぱいで喜びを表していました。

○：指導員 相川英里子
○：五月に一度、不入斗体育館でスポーツ教室を行っています。たけの子会やすらぎ、CCF、わたぼうし作業所の皆さんのお仲間に入れて頂いています。CCFの小林先生の指導で先ずは体操：そして誕生会。前でカーデをいただき、「野に咲く花のように」の歌のプレゼントもあります。六月は「子どものへや」では、指導員の浜田さんがお祝いして頂きました。その後は各作業所で考えたゲームです。今月は「やすらぎ

園を散策しました。子供達が自分で入場券を買って入園し、しようとします。花の花、珍しい八重の藤の花、バラの花々を見ながら、車椅子で外気浴をしながら、のんびり散歩をしました。

○：指導員 上野幸子
○：所員が大好きな音楽を楽しむため、新しく完成した総合福祉会館内の音楽室にて、月末より毎週水曜日、先生に音楽の指導をお願いしています。第一水曜日はやさしい眼差しで所員に話しかけて下さる大沢先生が担当して下さいます。先生の美しい声と、すてきなピアノで始まります。毎朝、木琴や手拍子で歌ります。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。

○：指導員 熊沢睦子
○：所員が大好きな音楽を楽しむため、新しく完成した総合福祉会館内の音楽室にて、月末より毎週水曜日、先生に音楽の指導をお願いしています。第一水曜日はやさしい眼差しで所員に話しかけて下さる大沢先生が担当して下さいます。先生の美しい声と、すてきなピアノで始まります。毎朝、木琴や手拍子で歌ります。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。名前を呼ばれた所員の顔も自然に微笑んでいます。音楽の楽しみ方は所員それぞれ違いますが、一緒に歌うと新鮮に聞こえてきます。

「子どものへや」では、連絡帳を
使つて毎日家庭と作業所での様子を
知らせ合っています。もう「子ども
のへや」に慣れたかしらと、期待と
不安を胸にソッとページを開く母親
たち。ある日、指導員さんからは、
こんなことが書かれていました。

て、とても可愛らしいコミュニケーションをしていました。とても良い一日でした。

指導研究

四月三十日

体を使って遊んでみようと座椅子に座らせ、シーソーのようにして遊ぶ。その後おんぶして外に出る。近所を散歩する。

降ろそうとしても嫌がつて降りず、とても気に入つていた様子でした。次にふとんを使い、ゆりかごの様にして遊ぶ。時々笑みがこぼれ、私も嬉しかつたです。食事も一番早く食べ、午後もりラックスして、いつもの座り込んだ姿勢はありませんでした。

(5) 鈴木幹大君 五月十二日
朝からニコニコと調子がよさそ
うで、一日中元氣でした。今日は
すい分体を動かしてみました。そ
の時も気持ちよさそうで、良く声
も出していました。散歩の時、バ
ギーに乗った女の赤ちゃんと顔を
見合させ、赤ちゃんは幹ちゃんの
方を向き、アーアーと声をかけ、
幹ちゃんもニコニコと応対してい

(5) 漢川 五月八日
意思表示がはつきりしているので、従つてあげられる時はとてもうれしいです。こちらの指示に、ノーを出された時は、まだ迷つてしまします。声はやさしく、意思是強く……。まだ難しいです。

お弁当は全部食べました。最後の一口を入れて「もう終わりですよ！」と言つたら、お弁当をジツと見ていました。もつと食べたかったのでしょうか？

ここは次の機会という事で、海辺の
散歩に出かけ、白い船をバックに記
念写真の“ハイ、ポーズ”；。うつ
すらと日焼けした顔に汐風が、とつ
ても心地よかつたネ；。おみやげに
お揃いのTシャツを買い、大好きな
アイスクリームに皆の顔は大満足。
出発時間の三時三十分に遅れない
様にバスに乗り込み、帰途につきま
した。思い出の頁が又一つ増えた事
でしよう。

つけ、おいしいお弁当を食べました
午後はお店をのぞきながらの散歩
アクアミュージアム見学に行つたの
ですが、残念ながら時間が足りず、
ここは次の機会という事で、海辺の
散歩に出かけ、白い船をバックに記

心の伝わりか
も多々ある指導
虚で寛大に見て
頂いているお母
様方に感謝して
います。所員の
一日が無事で安
全に終わるよう
ずつしりと責任
の重さをそれぞ
れが自覚しながら

一、短気な性
内に気が長
ンティアさ
心の伝わりが
多々ある指導
りする。

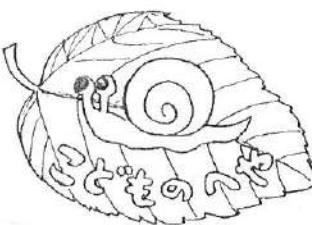
梅雨のさなか、夏を思わせる様な
白い雲と青い空、朝からお出かけ日
よりの六月四日（金）、横浜・八景
島シーパラダイスに出かけました。
不入斗総合体育館を九時三十分に
出発したバスは、高速道路もスムー
ズに、予定の十時三十分には目的地
に到着しました。

所員も新しい環境に慣れて少しずつ、様子も変化してきているようです。指導員の率直な気持ちを含め、例えば、

一、トイレに座らせると排泄が出来るようになり、うれしい。

一、だんだんリラックスして、
(大)も出来るようになる。

ら、頑張ります。こうして「こどものへや」も、一步一歩かたつむりのようになんでも前に向かつて、動き始めているんだなあ」というのが実感です。

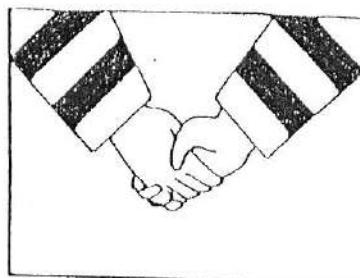


予定	定
二十一日	パン作り教室
二十五日	横・三作業所連絡会
二十六日	S K Y 総会
二十九日	職員研修（特総研）
三十日	機能回復訓練
七月	一日と六日 ともしび生産振興 会の作品販売（そごう9階）
四日	武山養護学校バザー
九日	ハイランド・バザー
十日	頌栄幼稚園バザー
十二日	職員会議・研修
二十四日	（わたぼうし作業所見学） 二十日 スポーツ教室 （長沢駅前）
日	ブル

ご寄付をありがとうございます

野口満寿江様	川崎伸江様	長塚進様	新井光枝様
山田ヒロ子様	・	・	・
川名道子様	・	・	・
岸照子様	・	・	・
斎藤みゆき様	・	・	・
榎本様	・矢野様	・永井洋子様	・川北陽子様
隈本様	・	・	・
ハイランド民生委員様	・横須賀フラサークル様	・大島印刷様	・奈良谷様
国立久里浜養護学校教諭有志様	・	・	・

子どものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL, FAX (0468) 49-8349

うちわに花火の切り絵を張る下請けの仕事をしました。指導員が作業しやすいように、下絵を作り、花火の位置を決め、置いたうちわが動かないよう、枠を作つたり工夫しました。さて、初めての仕事に所員はどういうに参加したのでしょうか!。

開所して三ヶ月余りたちましたが、行うこと、起ることが、すべてドキドキ、ソワソワ。時々ワクワク。前号に続き、そんな「ことものへや」の雰囲気を感じていただければと思います。

指導員が切り絵にのり付けした後、手を添えてやると、にこにこしながら、自ら手を左右に動かして押さえ、楽しそうに喜んで参加しています。

[鈴木幹太君]
白魚のような長い指に、のり付け用の紙をはさんであげ、それをはがす作業を指導員と一緒に「一二、三……」と元気よくはがし、にこにこと参加しています。

小田康雄君
のり付け用のはがした紙を、流れ作業のようにして、必ず康雄君に渡るようにしますと、ゴミ箱にまるで玉入れのように、ポイポイと投げ入れ、器用などころを見せてくれます。

一番の先輩らしく、精かんな顔つきで、指導員にしつかり手を任せ、最後の仕上げに余念がありません。
〔中野真君〕
テーブルを出すと、作業をする前から何をするか、顔を上げて興味を示し、指導員にぬれたタオルを持たせてもらい、のりを拭き取り、最後の仕事をうまく仕上げま

指導員に手を添えてもらい、押さえる作業を手伝いましたが、たまに興味がなくなると、康雄君の肩をポンポンとたたいて励ましたり、慎吾君や真一君の顔をなでたりして、いいコミュニケーションをとり、もっぱら総監督としての役目をしています。

一
すべて
新鮮

パン作り教室

指導員 鈴木成子
“パン作り”の案が出たのは、五月の職員会議。パン生地の感触、イースト発酵のにおい、ほかほかパンの焼けるにおいなど、楽しい体験が出来そう……ということで、実行に移されることになりました。

六月二十一日（月）、指導をお願いしたのは、桜が丘でパン作り教室を開いていらっしゃる浅野カズ子先生。「子どものへや」には、一度準備のために見えただけなのですが、やさしい声と笑顔のあふれる指導で（さすが、元看護婦さん！）所員は新しい体験をすんなり受け入れることができました。

生地にさわって、指を動かしてしつかり感触を楽しんだ幹大君：“油脂を入れる前の生地と後の生地の違

いをしつかりと感じ取つた充君。慎吾君は、手にくつつくと気持ち悪そうにその手をながめっていました。作業の全てを拒否した康雄君でしたが、昼食の時、嫌いなはずのパンを真っ先に欲しがつたのも康雄君でした。終始、楽しそうに参加していた真一君は、テーブルに寄つて来ては顔を持ち上げて見ていました。にっこ顔で、全ての作業に参加した朋美さんは、テーブルセッティングのお手伝い（お皿ふき）もしてくれました。

クライマックスは、焼き上がつたパンを囲んでのランチパーティー。武山養護学校からのお客様も含め、総勢十四名でにぎやかで楽しいひとときを過ごすことができました。今回、六人のメンバーのそれぞれ個性あふれるかかわり方を見て、ぜひこの企画を継続していくたいと思いました。

実習生を迎えて

「子どものへや」では、初めての実習生として六月十四日から二週間、武山養護学校高等部A組の三年生をお迎えしました。付き添いの先生方には、音楽やゲームなど「子どものへや」で教えていたただくことも多く、お疲れになつたのではないでしようか。実習生や先生は、どのようにお感じになつたのか、感想をお願いしました。（ほめられ過ぎかな？）

笑顔いふばいの実習

県立武山養護学校教諭
角野少弓子

横田さんの実習が「ことものへや」に決まった時、私は、少々複雑な気持ちでした。卒業生に会えるのはとてもうれしい事なのですが、開所早々で何かと大変な時期なのではと思つたからです。しかし、実際に実習が始まると、そんな心配は必要なかつたことがすぐ判りました。開所して三ヶ月足らずと言うのに、「ことものへや」の空氣は、とても落ちついていました。その上、落ちつきの中に、ホットな空気を感じずにはいられませんでした。

「ことものへや」の日課は、ゆつたりとした時間で流れていました。毎日何かに流され、追いまくられて生活している私にとつては、「人間らしい生活とは何か」を考えさせてくれる、幸運な時間でした。午前中の朝の会、散歩、牛乳の買い物、へやに戻つての昼食、午後からのバルに乗つてのリラクゼーション、と所員さん達の「生活」が、まさにこ

るものなのでしょうね。ともあれ、ここまでのですばらしい作業所を創り上げていらした卒業生のお母様方に、本当に脱帽です。所員さん達の「生活の場」を大切にしておられる「子どものへや」で、の実習中、横田さんは、連日ベストコンディションで生活させてもらいました。昼食は取つたり取らなかつたりなのですが、実習中は二週間全量摂取を通してました。彼女にも「子どものへや」には、自分の生活の場があるのだという事が、はつきり判つたようです。笑顔でお弁当をよく食べててくれた事も大変うれしいですが、何よりもそれを感じてくれた事の方が、私にとつては大きな感動でした。

横田さんと私にとつての実習は、これまでに得た事のない宝物のようなものです。この宝物を与えて下さった「子どものへや」の皆様方、本当にありがとうございました。

こにあるという感じでした。何よりも感動したのは、職員さん達の、所員さん達に接する時の温かい言葉と眼差しです。「子どものへや」の本ツトなムードは、このあたりからくつろぎの空間へと変化。

◎ 幹大君の座椅子
食事の飲み込みをよくする為に少し斜め横抱きにしていました。角度を変えられる座椅子にした事により指導員も楽になり、幹大君も食が進み、体重も増えて喜んでいます。

⑤ 朋美さんと雨ふりくません
食欲がない時など少しご飯を温め
たり、特にピラフなどは牛乳と一緒に
に温め、ドリア風にすると食べます
又、気分が高まつた時など、やさし
く静かに歌うと、うれしそうに歌
そうに、本当にきれいな穂やかな笑

食事の飲み込みをよくする為に少し斜め横抱きにしていました。角度を変えられる座椅子にした事により指導員も楽になり、幹大君も食事が進み、体重も増えて喜んでいます。

◎ 充君の黄色いキルティング
養護学校の椅子の習慣から、畳の
上で生活に変わった事で、食事中の
姿勢が悪くなり、よく動き回りま
した。充君のお気に入りの黄色い敷
物を作り、場所を決めた事で、動き

い濃いピンクの敷物にしてあります。それに、ふだん歩く事が少ないので、帰りは「へや」から少し離れた所でお母さんに待つていただいて、歩かせるようにしています。やさしいお母さんの待つ所へ、という目的がありますので、足どりも軽く早くなります。

二四日		フリーマーケット (長沢駅前)
二七日	職員研修 特縦研	
八月▽	二八三日 親の会旅行 (作業所休み)	九日～二十日 夏休み
九月▽	二四日 スポーツ教室	七日 職員会議 九日～十三日 愛護作品展

バザーやフリーマーケットに参加するため、大勢の方々のご協力をいただき、感謝しています。又、品物やお金のご寄付もいただき、お礼申し上げます。

・永井洋子様 作業ボランティア

・山本良子様
・山崎和子様
・杉山純子様
・入江美佐子様
・野口満寿江様
・小山素子様

話行錯誤の中から何かを見つけ
それが所員に受け入れられた時、そ
の成長に美しさや強さを深く感じ、
感動させられます。

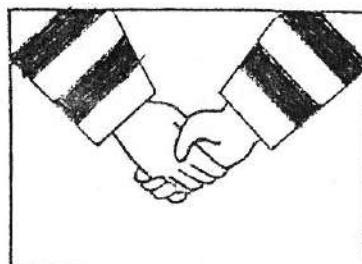
◎ 真一君への声かけ
食事も座位でとれますし、何も言う事の無い真一君です。いつも指導員の様子をよく見ていて、区切りの時の声をはつきりかけますと訓練の時間・おやつの時間・散歩の時間等、よく理解します。その為に声かけを多くするようにしています

神野とし子様
村田光恵様
鈴木智恵子様
飛栖郁子様
川名道子様
岸 照子様
佐藤 様
鍛治和男様
内田春子様
柴崎満寿子様

・村田光恵様
・鈴木智恵子様
・飛栖郁子様
・佐藤 様
・鍛治和男様
・内田春子様

上賀幸子様 川名道子様
中田光子様 西村和枝様
熊本美枝子様 松本登美子様
飛栖郁子様 杉原静子様

こどものへや



発行責任者

元代貴姓

1235

滝川郁子

横須賀市長沢 87-2

TEL, FAX (0468) 49-8349

機能訓練教
室

「このものへや」にとつて、機能訓練はとても大切な日課の一つです。幼い頃からの積み重ねで今のように座つたり、支えられて立つたり、歩いたりできるようになりました。その能力を維持し前進させるための、指導員と所員の努力の一端を紹介します。

長く姿勢を保つか、いかに姿勢を保つ
化させるか苦労しています。

安心感があつたことと 思います。

の ク
ナタリヤ

指導員 浜田道子

二回、理学療法士の清水先生に来て
いただいています。清水先生は、や
さしい眼差しのきやしやな御身体に
皆がびっくりする程のパワーを發揮
して指導して下さいます。機能訓練
は皆が初めて…。その中にあつて、
清水先生は我々の心強い味方。とて
も先生のようにはまいりませんが、
職員も一生懸命に先生のなさる指導
を見守り、先生のやり方をまねよう
と必死です。

全体の流れとしては、身体の屈伸（膝の曲げ伸ばしや手足を引っ張つて全身を伸ばす）、足のひねりを用しての脇腹伸ばし、寝返りと横転肘立てでの腹ばい姿勢などをやります。

一つ一つの動作は簡単そうなのでですが、いざ職員が動かそうとするとなかなかうまく動いてくれず、一汗二汗かいています。特に寝返り時の上体のひねりと手のつき方、肘立てでの腹ばい姿勢時の肘立ての維持など、所員のやる気を起こし、いかに

べく伸ばすようになります。鈴木君は、少しでも右手を使えるように右手を支えて、手のひらを地面に平行に置くようにしています。小田君は、階段の昇り降りの際、片足ずつ揃えながら、手すりを持つて一人でできるよう働きかけています。

まだ二回と回数も少なく暗中模索の日々ですが、機能訓練で得た知識を日々の、特に午後の機能訓練の時に生かさせていただいています。所員達の笑顔に励まされ、今日も頑張りたいと思います。

両足で押さえながら、軽く引き上げる）を行っています。滝川君は、背筋を伸ばして座る練習と、少し出でいる背骨を手で押してあげるようになっています。福谷君は、歩行練習を行っていますが、片足ずつに重心がかかるように、身体の移動に気を配ります。中野君は、椅子に少しでも長く座つていられるように、又、足がどうしても曲がった状態になりやすい為、座位の時に膝から下をなる

安心感があつたことと 思います。
ただ力の無い女性では、片手で
車椅子を押すのは難しく、まね
はできませんが、心配りという
点では、お手本になります。又
買い物で寄つて本屋さんでは、

次に現れたのは、八センチメートル幅で縫い合わされた布製のひもです。先ずこれに結び目を作ります。握力の弱い人でもそこを持てば握りやすい大きさになります。二手に別れて室内

買いたくて寄つた本屋さんでは、絵本を見せて話しかけておられました。常に気持が、ケアしている者に向けられている姿勢をここでも感じました。

さて午後からは、先生の秘密グッズの登場です。以前、神明公園への遠足の時に、ハンモックに揺られて皆大喜びだったのですが、今日のハンモックはデニム製です。四隅が、肩からかけられるようになつています。最低四人いれば、ユラユラできるスグレ物です。順番に乗つて揺られている者の笑顔は、もう格別!!

佐
ハ
ン
いなれまぢ 二三に別れて室内
での綱引きです。指導員に支え
られて、引っ張りました。順番
にしたのですが、全員力不足で
した。そのひもは、又、輪に結
んで電車ごっこにも利用できます。
久しぶりに、力の強い男の先生と
一緒に過ごした日に、所員は大満
足でした。時間があれば、月に一度
ぐらいの割合で、来て下さるとのこ
とで楽しみです。そして何よりも、
先生の所員に接する時の、やさしい
眼差しと気持ちを学んでいきたいと
思います。

佐藤先生のク

☆ステンシルを始めました
何か所員に出来る作業は?と考え
型の上を筆で叩いて模様ができる
ステンシルを取り入れてみました。
康雄君:上手に筆を使い、トントン
目下、一番の働き手です。
朋美さん:今のところ、ジーと見つ
め、興味を示しています。
充君:筆を二~三回だけ動かし、

慎吾君：作業が始まると狸寝入り？
真一君：持ち前の旺盛な好奇心を発揮して、頑張っています。
幹大君：手を添えてもらい、ジーと型を見つめ頑張っています。
：各所員の能力に応じた工夫をし、今後も続けたいと思っています。

頑張るぞ！

七月二十三日、金曜日、「小さき花の園」の佐藤和範先生が来所し、

「もっと乗りたい？」の先生の声かけに、ニッコリ笑って答える姿に、

フリーマーケットに初参加

指導員 岸 照子

七月三十日、長沢駅前で地域の皆さんと、楽しく一日店を開きました。小さなスペースに「こどものへや」だけのオリジナル・グッズ、不用品手作り小物、ランの小鉢など厚意の品物がたくさん並びました。

店作りに一苦労。見やすく、買いややすく、「こどものへや」を知つていただく良い機会で、責任も感じます。開店を待ちきれず、早々とお店の前は大賑わいです。「これ可愛い

子ども達も散歩の時間に立ち寄つて、いつもは静かな広場が賑やかでびっくりしながらも、嬉しそうな表情です。店をゆっくり覗きながら、「欲しいものはないかなー。」「ルームアクセサリーを買い、楽しいショッピングを体験し、満足そうな顔をして帰つて行きました。

機会があればどんどん参加し、地域の皆さんと仲良くしたいと思います。

フリーマーケットに隣接して、こども達が動物とふれあう事のできる

値段は?」にわか店員は大忙しい。安くて良い品物はすぐ売れて、主婦の眼は確か。

広場がありました。係の人の引くボニーに乗る小さな子や、羊ややぎの「こどものへや」の面々も、この催しにちょっと…。

と参加してみよう

中、「こどものへや」の面々も、この催しにちょっと…。

でも、この催しにちょっと…。

でも、棚の中に入る訳にもいかないので、近くにいた小さな動物に触れてみる事にしました。

「充君、ひよこだよ!」と手の近づきました。

一緒に行つた慎吾君も、ひよこを触つてみましたが、ちょっと恐そうで、あま

り嬉しくない様なので他は止めてお

りました。

真一君は、ひざに乗つたひよこやうさぎを興味深そうに、ジーと見つめています。

り嬉しくない様なので他は止めてお

りました。

一緒に行つた慎吾君も、ひよこを触つてみましたが、ちょっと恐そうで、あま

り嬉しくない様なので他は止めてお

りました。

り嬉しくない様なので他は止めてお

りました。